カトリック福岡教区報

ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人　カトリック福岡司教区
編集人　山元　眞
TEL　092-522-4059
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　1部70円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【教皇の意向】新たな殉教者

【日本の教会】性虐待被害者

2024年 四旬節司教教書
イエスとともに
福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教

フランシスコ教皇 四旬節メッセージ「荒野を通り、神は私たちを解放へと導かれる」

今年も四旬節を迎えることになりました。全世界の教会とともに回心の呼びかけに耳を傾け、相応しい心で主の死と復活を記念する準備に励みたいと思います。

毎年のように、教皇は四旬節のメッセージを発表なさいます。今年は、荒れ野を渡った旧約の民の姿を思い起こしながら、様々な執着を捨てて、神が与えてくださる「自由な地」に向かって歩むように私たちに呼びかけておられます。「ファラオとは異なり、神は臣民ではなく、子らを望んでおられます。荒れ野は、私たちの解放を、再び奴隷状態へと陥らないという個人の決意へと熟させるための場所です」と教皇が述べておられます。そのために、祈る時間を作るように勧めておられます。「テンポを落として、じっととどまってみてください。四旬節が気づかせてくれる、生活の中にある観想的な面は、新たなエネルギーを生み出すでしょう。神の現存において、私たちは兄弟姉妹となり、新たな熱意をもって他者を受け止めます」。「約束の地」は平和と正義が溢れるところです。それに目と心を向けさせる四旬節は「恵みのとき」です。

十字架の道行

四旬節の間に「十字架の道行」と呼ばれる信心業は昔から教会で行われてきました。イエスが死刑の判決を受けた時から、ゴルゴタの丘の上で息を引き取って、墓に納められる時までの出来事を思い起こしながら、イエスが歩まれた道を観想する信心業です。14のエピソードが思い起こされますが、その中に福音書に記録されていることもあれば、教会共同体がイエスの歩みを観想しながら思い浮かんだこともあります。「十字架の道行」は、イエスの受難と死を祈りのうちに黙想した共同体から生まれたのです。

画；MINO CEREZO 神父

イエスが担ってくださったこの「世の罪」の重さを痛感して、三回もイエスが倒れる場面があります。イエスの苦しみを自分たちのものとして感じていた女性の間から、一人がイエスに近づき顔を拭いてあげる場面を祈りのうちに観想します。十字架を担いでいるイエスのそばにいるはずの弟子が逃げてしまい、通りがかったキレネの男がイエスとともに十字架を担ぐ場面は、共同体への厳しい問いかけです。十字架の上ですべてを与えつくされたイエスの遺体がマリアに抱き迎えられた場面は強く心に響くものです。お告げのときに、イエスを自分のうちに迎えたマリアは、今は、天の父の御手に我が子を委ねます。とても意味深い場面です。

また、イエスの「十字架の道行」を黙想しながら、現代において「世の罪」の結果を負わせられている人々の状況を考え、イエスのもたらした救いがすべての人々に及ぶように祈ります。聖金曜日にローマのコロッセオで行われる「十字架の道行」は、この様子をいつも取り入れています。

皆さんに「十字架の道行」の実践をお勧めします。聖週間の典礼をより深く味わうための準備になるでしょう。

ヨゼフ・アベイヤ

3月1日性虐待被害者のための祈りと償いの日

2016年、教皇フランシスコは、全世界の司教団に向け、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるよう通達し、日本の司教団は呼びかけに応え、この日を「四旬節第2金曜日」と決定しました。今年は3月1日（金）となります。

性虐待被害者のための祈りと償いの日

右記QRコードも参照に、この日をすべてのキリスト者とともに、傷ついた被害者の方々の悲しみと苦しみを理解し、彼らのいやしと回復のために、いつくしみ深い神に祈り、また、全世界がこの困難な状況を乗り越えるために、神からの恵みと力づけを祈りましょう。

司教協議会メッセージ

※4面広告欄に福岡教区セクハラ対応窓口の案内を掲載しています。（4面右下）

3月11日　東日本大震災から13年

あの未曾有の震災から13年。そして今年1月1日、北陸地方が大規模地震に見舞われ、大勢の人々が苦難の中にある。

2019年11月に訪日したフランシスコ教皇は、東日本大震災被災者との集いで「1人で復興できる人はいません。…町の復興を助ける人だけでなく、展望と希望を回復させてくれる友人や兄弟姉妹との出会いが不可欠です」と語った。

私たちキリストに倣う者が、被災者の良き隣人となり、キリストが共にいてくださることを証しできますように。

新教皇庁大使 任命
フランシスコ・エスカランテ・モリーナ大司教

©Diócesis de San Cristóbal en Venezuela.

教皇フランシスコは2024年1月25日、新駐日教皇庁大使として、ベネズエラ出身のモリーナ（Francisco Escalante MOLINA）大司教を任命したことを発表。

モリーナ大司教は本任命まで、ハイチの教皇庁大使を務めていた。

時の話題
性虐待被害者のために

性虐待。この言葉を目の前にした時、誰しも目をそむけたくなります。ましてや、私たちキリスト者にとって、特に、全世界の教会で明らかにされた聖職者による子どもたちへの性虐待というあまりにも忌まわしい出来事に対しては「何かの間違いだ！」というのが正直なところだと思います。公認心理師のこの私でさえ例外ではありません。しかし、悲しいかな、これは事実なのです。

では、この事実を私たちはどのようにして知ることになったのでしょう。それは他でもない被害者本人の証言によってです。ただし、本人にとっては、証言すること自体がさらに深い傷となります。その最大のものは、残念ながら教会が加害者である聖職者を厳正に処することを怠ってきたことなのです。

そうなれば、本人が加害者や教会に対する激しい怒りと共に、信仰を棄てる道を選んでも不思議ではありません。ところが、なんということでしょう。長年にわたる苦しみの中、神への信頼を失うことなく、粘り強く教会の不正を正すべく活動し、最後には加害者の神父に対して「あなたをゆるします」とまで語りかけた一人の被害者がいたのです。

私は、この彼の手記と、序文を寄せた教皇フランシスコの慈悲と教会の不正を許さない毅然とした言葉に出会えたこと、そして何よりも彼を支え続けた多くの信者たちの存在が、私たちにあらたな信仰への道を示してくれたことに深い喜びを感じずにはいられません

浄水通教会　児島達美

〔文献〕ダニエル・ピッテ著（2017邦訳2019）『神父さま、あなたをゆるします』フリープレス発行

教区全司祭集会
第16回シノドス第一会期の報告を受けて

©カトリック東京大司教区
第16回シノドス第1会期で歴史的快挙議長（教皇）代理を務める西村さん（左）

今年度4回目の教区内全司祭集会が1月30日（火）大名町教会で開かれた。教区内全司祭集会は、日頃の宣教司牧生活を見直すために毎年度4回開かれている。今回のテーマは「シノダリティ～ともに歩む教会」。10時半から「教会の祈り」を全員で唱え、12時半までに2回の講話を聞く。午後はグループで講話を基に分かち合いをし、全体発表の後、聖体賛美式の中で長い沈黙の時間をとって祈り、散会。

今回は、実際にシノドスに参加した西村桃子さん（第16回シノドス通常総会第一会期議長代理、セルヴィ・エヴァンジェリー宣教者の会宣教師）からシノドスへの歩みや総会の様子を伺い、福音が求めている「ともに歩む教会」の理解を深め、司祭としての歩みを見つめなおす機会とした。

第二バチカン公会議の後、教皇によって召集されるシノドス（世界代表司教会議）は今までに15回開催された。シノドスは世界の教会が、その時々に直面している諸問題を分かち合って教会の使命を確認し、実践に移すことを目的としているが、その動きと成果は諸教会の信者のところまで届いているとはいえない状況だった。

教皇フランシスコが呼びかけた今回のシノドスは、その原点に戻るために、従来の方法を見直し、世界の諸教会の現実を見聞きすることから始めた。第16回シノドスはすでに2022年から始まっており、昨年の第一会期を経て今年の秋まで続く。会議の場所は会議専用会議場ではなく、聖パウロ6世ホールに30以上の丸テーブルが設置された。このテーブルを信徒と聖職者が囲み、分かち合いと会議が進められた。

今回のシノドスの一つの目的は「どうすればわたしたちは、より『ともに歩む（シノドス的）教会になることができるのか』ということ。

このような流れの中で、司祭集会でもシノドスでとられた分かち合いの方法「霊における会話」が試みられた。

聖霊の働きと各人への信頼の基に行われた「霊における会話」を行った司祭たちは、改めて「聴く」ことの大切さを強く再確認して散会した。

みちくさ

科学と技術の発展は速いです。最近、人類はAI（人工知能）を発展させており、絶対不可能だと思っていた創意的な領域にまで可能性を表わし始めました。それに伴い、これまで発見できなかった新たな科学的なことも発見できるようになります▼このように、科学技術の進歩は目覚ましいものです。そして、これが全てであり、これこそ私たち人類が前に進むことができる唯一の道だと信じる人々がいます。いわゆる無神論者たちです。彼らは科学と理性の光で宇宙のすべての神秘を知ることができると言います。しかし、人類の科学はこの広大な宇宙についてどのくらい知っているでしょうか？ 著名な宇宙天文学者であるニール・タイソンはこう言います。「実際、人類がどれほど宇宙を知っているか私たちも正確には分かりませんが、宇宙全体に対して数値化してみると約4％に過ぎません」▼ある人たちは科学によって宇宙の真理が明らかになると言います。しかし、それは科学というレンガを誤って利用することです。科学は宗教と合わないものではありません。むしろ科学的な発見を通して神を賛美し、善を行うことができます。しかし、それが全てだと信じ、欲望のために利用することは誤った利用であり、科学というレンガで「バベルの塔」を築き上げることになってしまいます。私たちはこの科学というレンガを通して「バベルの塔」ではなく「祭壇」を築き上げなければなりません。そのため私たちは現代の科学に関して、それが正しい道に進んでいるかを見極める必要があります。（J）

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

祝 司祭叙階 60・25周年

福岡教区では毎年、司祭叙階から節目の年を迎えた司祭たちを、聖香油ミサ（２０２４年は３月27日水曜日）の時にお祝いする。

福岡教区で働き、今年、司祭叙階60周年、25周年を迎える３人の司祭たちに言葉を寄せてもらった。

叙階60周年

永富　久雄　神父
（聖パウロ会司祭）

私、パウロ会の永富久雄神父です。今年、２０２４年は私の司祭職60年目を迎えました。

私が司祭に叙階された年は１９６４年で、東京の四谷修道院で数年を過ごし、そして、大阪の修道院に移って２年ぐらい過ごしてきました。

その後は、ずっと今日に至るまで、福岡の修道院で奉仕してきています。福岡での最初の頃、１９６０年代で、小笹修道院でした。２０００年に入ってからは、現在の赤坂修道院に移り現在に至っています。

私の使徒職は、マスコミの媒体を使って宣教することを目的としているパウロ会会員として、主に編集部の校正を行う仕事で、現在も教区報の校正を手伝っています。

この60年間、無事に司祭職奉仕ができたことを神様に感謝しています。

叙階25周年

牧山　美好　神父
（福岡教区司祭）

司祭叙階の日から25年が経ちました。神様に感謝します。出会い関わってくださった方々、祈り支えてくださった皆様、ほんとうにありがとうございます。

今までの歩みを振り返ると、自分の弱さゆえに、熟慮が足りなかったこと、忍耐しなかったこと、勇気をもって一歩踏み出せなかったことが思い浮かびます。神様と皆様に、心から「ごめんなさい」と言いたいです。

つくづく神様の恵みなくしては考えられない人生だと実感します。神様の恵みと、恵みを信頼する人たちに支えられてきました。自分がおこなうことは神様の恵みによるもの、恵みを届けるためのものです。

これからも皆様と共に祈り、助け合いながら、主キリストに信頼して、そのみあとについていきたいと思います。

叙階25周年

熊川　幸徳　神父
（長崎大司教区司祭
サン・スルピス司祭会）

司祭に叙階された１９９９年は、ザビエル渡来４５０年の節目の年であった。その２年前、すなわち１９９７年には26聖人殉教４００年を記念したばかり。２０００年は言うまでもなく大聖年。

つまり、この時期の日本教会は控えめに表現しても、重要な歴史的節目を生きていたことになる。独特の雰囲気があり、ある種の興奮さえあった。その雰囲気なり興奮なりは、単なる祝賀ムードを作り出していたのではなく、日本教会全体を福音宣教に駆り立てる熱意の源でもあった筈である。そのような時に司祭に叙階された者のいわば宿命でもあるかのように、どこに行っても「私も、ザビエルのように…」が毎度の決まり文句となった。

さて、あれから25年。日本教会を取り巻く環境は大きく変化した。大聖年の頃と比べると激変という方が正しいのかもしれない。しかし、より真剣に受け止めなければならないのは私自身の変化ではないだろうか。「あなたは初めのころの愛から離れてしまった」（黙示録２・４）。これが、近ごろ、私の胸に去来する聖句である。今、素直な気持ちで「初めのころ」に戻りたいと思う。さすがに、もう一度「ザビエルのように」とは言えそうにないが、その情熱を取り戻したいと思う。

四旬節愛の献金と TOGETHER WE キャンペーン

カリタスジャパン

四旬節となり、各教会では愛の献金が集められています。カリタスジャパンという名を耳にすることがあるはずです。カリタスとは愛という意味です。弱い立場に置かれた方々の尊厳が守られ、すべての人々がともに生きることを目指しており、教皇庁に本部のある組織です。カリタスが行う募金や災害救援、ボランティア支援はその活動の一部です。四旬節カレンダーが配布されています。皆さんからのお祈り・献金がどこに届けられたのかが分かります。カレンダーとしてだけでなく、四旬節の黙想にも用いることができます。

また、弱い立場に置かれた方々と私たちがともにいることを目指す「Together We ともに」キャンペーンを行っています。すでに配布されているカリタス27号も手に取って祈りのうちにご覧ください。

協力してくれた九州の青年たちとのキャンペーンの様子

写真は１月27日（土）手取教会のミサに集まった九州の青年たちと教会の皆さんとのキャンペーンでのひとときです。キャンペーンシンボルである「ともに」のロウソクを灯し、皆が世界中の弱い立場に置かれた方々とともにいることをお祈りしました。

カリタス部門担当　寺浜亮司神父（吉塚・南粕屋教会主任）

※カリタスジャパンのページは下記QRコードから。

世界奉献生活の日

「世界奉献生活の日」（２月２日）、福岡教区では、カテドラル大名町教会に司祭・修道者、そして信徒も集い、ともに祈る。

今年は２月３日（土）、ヨゼフ・アベイヤ司教が講話を行い、その後、主司式（共同司式に４人の司祭）による感謝ミサが捧げられ、参加者約80人がともに心を併せて祈った。

この時の様子は教区ユーチューブ（下記QRコード）から配信されている。また、講話の内容は、次号「知りたい！福岡教区の修道会・宣教会で」で紹介する。

進行を務めた教区修女連会長
Sr. 金公女（幼きイエス会）

福岡教区宣教司牧方針を受けて

2022年４月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。

「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます

ミーア・とも生き会 ミーアサロン大濠

「ミーアサロン大濠」は、毎月第１、第３水曜日に大濠カトリック会館で開いています。「ミーア・とも生き会」という会の主旨（困難を抱えている人や子どもに寄り添う）を活かす目的で始めた活動です。

笑顔でマフのぬくもりを分かち合う
ミーア・とも生き会の皆さん

2019年に千葉県で小学４年女児の、親による虐待死と同時期にこの会を立ち上げたことから、女児Mさんの名前をお借りし「ミーア・とも生き会」と名付けました。「とも生き」は一人ひとりが互いのいのちを尊重し、平和を求め、ともに生きていくことを意味します。そして、2022年に困難を抱えている人や子どもたちの居場所（フリースペース）になればと、臨床心理士の力をお借りして相談の場も提供できる「ミーアサロン大濠」を開設したのです。

私たちメンバーは家庭、教会、地域の身近な人の中で①困っている人に気づこう、②声をかけよう、③一緒に話そう、などを合言葉に毎回集合し、訪れた人と共にゆっくりお茶や食事をしたり、聖堂で祈ったりします。

また最近、カラフルで暖かいニット「いやしのマフ」（認知症マフ）を手作りし始めました。英国では認知症の人の手を暖かく保ち、触覚や視覚を用いたケアに活用されています。新たにメンバーに加わった皆さんと共に、手と心をつなぐぬくもりを感じてもらおうと編みあげたマフは、病人訪問に持参したり、自宅で介護している方や手が冷える方などに使ってもらい喜んでいただいています。

どなたでも「ミーアサロン大濠」にお出かけください。そして「いやしのマフ」を一緒に作りませんか。きっといろいろな出会いが待っています。

※４面参照

ミーア・とも生き会　代表　角田茂子（光丘教会）

福岡教区人事異動

〔〕内は現任地、順不同
【２０２４年４月７日付】

小教区

◆岩下和樹師〔長崎大司教区、茶山教会主任〕
茶山・糸島教会主任
◆山口好信師〔鹿児島教区、カルメル修道会チャプレン〕
糸島教会協力（カルメル会在住）
◆ジョンソン・ローシャン・デソーザ師〔カプチン修道会〕
大楠教会主任・美野島司牧センター協力
◆浦川務師〔崎津・大江・本渡教会主任〕
今村・本郷教会主任
◆中尾直通師〔長崎大司教区、サン・スルピス司祭会〕
今村・本郷教会協力（旧福岡カトリック神学院在住）
◆川上惣一師〔小郡・鳥栖教会主任〕
大牟田教会主任
◆田中重治師〔大牟田教会主任〕
小郡・鳥栖教会主任
◆竹森勇師〔今村・本郷教会主任〕
二日市教会主任
◆金 成千師〔ソウル教区、手取・帯山教会助任〕
飯塚・田川教会主任
◆谷口尚志師〔水巻教会主任〕
水巻・直方教会主任
◆金 貞根師〔黒崎・門司教会助任〕
門司教会主任
◆竹内英次師〔長崎大司教区、二日市教会主任〕
崎津・大江・本渡教会主任
◆中村信哉師〔飯塚教会主任〕
健軍教会主任
◆申 東輝師〔仁川教区〕
手取・帯山教会助任（帯山教会在住）

引退

◆渡辺隆義師〔健軍教会主任〕
引退・司教館付

教区外へ

◆パウロ・カルン・マスカルナス師〔大楠教会主任・カプチン修道会〕
◆アントニサミ・イルダヤラージ師〔今村・本郷教会協力、オブレート会〕
◆ルイ・ベリオン師〔パリ外国宣教会〕フランスへ帰国

サンパウロ
福岡宣教センター
営業時間：
10:00～18:00
定休日：日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 ／fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp
レジナ アポストロールム

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
㈱ジャパン・スマイルか
代表取締役　マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL ０９２－７６１－８８００
http：／／www. iruka－japan.com／

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・ＲＣ工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社　森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811－7265

別れ・出逢い・旅立ち
草〔SOU-EN〕苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
ＴＥＬ 092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

2024年 福岡キリスト教一致祈祷集会

福音を朗読する中村神父

世界のキリスト教会は毎年、1月18日から25日（聖パウロの回心）までを「キリスト教一致祈祷週間」として祈ります。福岡では、市内のキリスト教各派合同の「福岡キリスト教一致祈祷会実行委員会」が主催し、カトリック教会とプロテスタント諸教派の教会が交互に会場となり、共に祈りを捧げてきました。

今年は1月21日（日）、日本基督教団福岡中部教会礼拝堂（塚本吉興主任牧師）で行われ、司式に塚本牧師、共同司式者には各教派の牧師、カトリック教会からは中村彰神父（大名町教会主任司祭・教区エキュメニズム部門担当）が参列。各教派70人余りの信徒が参加し祈りを捧げました。

今年のテーマは、「あなたの神である主を愛しなさい、また隣人を自分のように愛しなさい」（ルカ10章27節）。説教に立たれた武藤謙一主教（日本聖公会首座・九州教区主教）は、「長崎の対馬にはカトリックの教会がなく、聖公会の教会をお使いいただいています」と、また「教会は宿屋です。フランシスコ教皇が言う野戦病院です」と話されました。ここに祈祷一致の姿を垣間見たように思いました。信徒席にて共に祈るアベイヤ司教様の姿に励まされました。ほんの少しの歩み寄りが、いつの日か私たちを一致の道へ導いてくださるのではと神の臨在を感じました。

祈祷会後、中部教会の信徒の方々の心遣いのお茶をいただき、穏やかで平和なひと時を味わい帰路につきました。

来年は、カトリック教会が中心になり準備をします。私たちも祈りながら、来年に向けて心を一つにしましょう。

福岡地区では、エキュメニズムの勉強会を、月一回大名町教会で開いています。どなたでもご参加ください。

報告＝光丘教会　西川敦子

長崎教会管区　青少年担当司祭会議

長崎教会管区青少年担当司祭たち

2024年1月10日（水）、カトリック大名町教会において、チェ神父様（大分教区）の呼びかけで長崎教会管区青少年担当司祭の集まりが開催された。福岡教区から5人、長崎教区から2人、大分教区から2人、鹿児島教区から2人の全11人の司祭が参加した。コロナ禍で4年ぶりと久しぶりの会合であり、またリスボンでのWYDに参加した司祭たちも集まったことから、終始和やかな雰囲気で行われた。

会合では、それぞれの教区からコロナ禍での活動や近況の報告を行った。教区の規模や状況は異なるが、各教区や地区の特徴を考慮して工夫して活動していること：教区青年の集いや青年黙想会（長崎教区）、青年や中高生の定期的な集い（大分教区）、移動した青年に会いに行く司牧（鹿児島教区）、FYCC（中高生キャンプ）、青年センター開設や青年会主催のインターナショナルミサの企画（福岡教区）などを分かち合った。次回の集いは5月に鹿児島教区で予定されている。

青年たちの在り方や考え方が変わっていく中、司祭の青少年、特に青年との関わり方を見直す等の課題が出された。今後、長崎教会管区青少年担当司祭の集まりを重ね、管区の青年の集いや様々なイベントを考案しながら、青年の集まる場を提供する機会を探っていく。教区を越えた青年のつながりを司祭団がサポートしながら青少年たちと向き合っていきたい。そのためにも司祭団には、教区内外の司祭の密な交わりが必要不可欠であることを認識して、青少年司牧をしていくことが必要だと感じている。

報告＝桑原篤史神父（笹丘教会助任・聖アウグスチノ修道会）

春から神学生として召命の道を歩む　人を愛し、ゆるす司祭を目指して

ティです！よろしくお願いします

福岡教区の皆さま、初めまして。私はベトナム・バンミートウアット教区出身で、現在22歳になります。カトリック教徒の家庭に生まれ、両親は農業を営んでいます。幼い頃から毎日ミサに通い、ミサの神聖さ、尊さを知り、私の中に、司祭になりたいという気持ちが芽生えました。

日本の文化や人々について多くのことを学び、家族を助けたいという願いと目標を持って、2021年1月18日に来日しました。何度も佐賀教会のミサに参加し、祈り、歌いました。そして、主任司祭・牧山美好神父と信徒たちの励ましと助けのおかげで、司祭になりたいという願いを言い表すことができました。神様が私に対して抱いてくださり、私の心に与えてくださった愛をもって、人を愛し、赦すことを知る司祭になりたいと思っています。

日本とベトナムでは文化や生活が大きく異なるため、契約実習生として日本に来た時は、日本語やマナー、文化を学ぶのに多くの困難に遭遇しましたが、周りの人たちの理解により日本語で話せるよう助けてくれたので、ここで喜びを見つけました。

2024年1月18日（木）、ベトナムのヴィン神学校予科に入学するため帰国しました。また日本に戻って、皆さまと一緒に信仰を実践し、共に生きることを楽しみにしています。そして日本語をもっと勉強し、教会活動に参加したいと思います。

これから長い旅ですが、神様のお恵みと聖人の助け、そして皆さまのお祈りで頑張りたいです。どうか私のために神様に祈ってください。

ヨゼフ・グェン・グァン・ティ

知りたい！ 福岡教区内の修道会 宣教会㉑

福岡教区には現在30の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。

一昨年春より紹介している、その修道会や宣教会。第21回は、純心聖母会です。

純心聖母会

90周年を迎えるための本部での研修会の様子

純心聖母会は、1934年6月9日、日本人最初の司教、長崎大司教区長ヤヌワリオ早坂久之助司教によって、大浦天主堂のサンタ・マリアの祭壇前で創立されました。長崎大司教区に本部を置く、聖母マリアの汚れなきみ心に捧げられた、教育と社会福祉の使徒的活動を行う聖座法の女子修道会です。初代会長シスター江角ヤスは共同創立者として修道会の基礎を築きました。

会員は、創立者がカリスマとして受けた「与え尽くす十字架上のキリスト」の愛を霊的遺産として大切にし、次の3つを会の霊性として受け継いでいます。

（1）　聖体への信仰
（2）　聖母の汚れなきみ心の霊性
（3）　日本の殉教者の精神

会は、今年の6月で創立90周年を迎えます。現在はそのため、会員が特に内的生活を深めていけるように準備を進めています。

使徒的活動の場は、日本（24カ所の修道院）とブラジル（2か所）です。会員数は255人、祈りと奉仕をもって教育と社会福祉、教会小教区の現場で活動しています。天草の大江修道院は2012年4月に開始しましたが、残念ながらこの3月で閉院することになりました。福岡教区にお世話になった12年間、たくさんの出会いと学び、そして喜びに満ちた恵み多き日々でした。本当にありがとうございました。福岡教区と関係あるすべての皆様方に神さまの豊かな祝福をお祈り申し上げます。

感謝のうちに。

大江修道院　院長　Sr. 村川貞子

大名町教会　ホームレス支援　熱いスープの会

寒さ厳しい2月から、大名町教会では小教区のアクション団体「スープの会」とNPO法人福岡おにぎりの会の共催で、野宿や生活困窮の方々への夜回りが実施されています。

この会は35年以上前、大名町教会の当時の教会委員の皆さんが始めた活動です。当時、天神や博多駅に60人ほどおられた野宿者の方々を訪ね、おにぎりや味噌汁を配り始めました。今も、金曜の午後に調理ボランティアの皆さんが豚汁を作り、夜にはお寺やプロテスタント教会、お店などから寄付されるおにぎりなどと共に配布します。上智福岡中学高等学校（イエズス会）などの生徒たちが参加することも、活動の柱となっています。

カトリックとしてこの活動を行う意義は3つあります。ひとつは、小さくされた人々に寄り添うことを実践したイエスの求めに応えることです。次に、教会に人が来るのを待つだけではなく、社会の中でイエスの教えに基づいて活動することです。最後に、カトリック学校に学ぶ子どもたちに、建学の精神の土台となるカトリック教会との出会いを提供することです。日頃の活動へのご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

代表　深堀伸一（大名町教会）

夜回り参加者の声

「私は、夜回りに参加して、自分の未熟さを知りました。私が知らなかった、身の回りの貧困についてなど、ホームレスの方々から新たな世界を教えてもらいました。内向的だった私ですが、人は関わりの中で成長できるのだと確信しました。夜回りの経験を通して、より多くの人と関わり、見識を広めていきたいと感じました。」（上智福岡高校1年女子）

「炊き出しに参加した時、ホームレスの人とそうでない人とあまり区別がつきませんでした。炊き出しに並ぶ方の見た目は普段街ですれ違う人たちと大差なく、初めは間違えてスタッフの方に食事を渡したことがありました。ただ見ただけでは、生活に困っている人を認識することができず、ホームレスの人のような、社会的地位の低い人のことを考える機会があまりないことが、社会から排除されることに繋がっているのではないかと考えました。」（上智福岡高校1年女子）

大名町教会のすぐ側、都会の真ん中の私たちのガリラヤ

BOOK 読みは専科

☆神父さま、あなたをゆるします　ダニエル・ピッテ（著）　古川　学（訳）

9歳からの4年間、司祭の振るう性暴力に苛まれた少年は44年後、凌辱の加害者と再会する。許しを乞う老神父を被害者はなぜ赦すことができたのか―これはスイスが舞台となった実話である。詳細を知った教皇フランシスコは本書に序文を寄せて詫びた。

フリープレス発行
税込価格1650円

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322　FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522　FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
ご一緒に働いてみませんか

URL：http://www.st-mary-med.or.jp/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山7-91　TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社　代表：エリザベト熊谷

年間目標　互いに支え合う交わりの教会となる

主催：ミーア・とも生き会
ちょっとひとやすみしませんか
フリースペース「ミーアサロン大濠」

［日　時］3月6・20日（水）　※第1・3水曜日
10時～12時/13時～15時
（12時～13時昼食　ランチ献金）
※どの時間からでも参加可能
［場　所］大濠カトリック会館
［問合せ先］TEL090・5940・1344　角田
※2面参照

福岡教区社会福音化委員会 協賛
3・11 追悼シンポジウム
避難するということ

［日　時］3月11日（月）　17時～19時
［場　所］カテドラル大名町教会　1階講堂
［内　容］第1部 映像「見えてきた様々な形」
第2部 報告「13年後の九州在住避難者のアンケート」
第3部 パネルディスカッション「私たちの13年」
［問合せ先］TEL090・9530・3148　内藤

シスターと一緒に
イエス様の声を聞いてみませんか Part3
～日常の中でイエスさまと出会いたい！～

［日　時］3月20日（水・祝）10:30～16:00
（昼食を一緒にいただいておやつで終了）
［場　所］聖心のウルスラ宣教女修道会
福岡修道院
［対　象］高校生・青年・独身者
（希望であれば中学生も可）
［問合せ先］TEL 092・512・0033
（聖心のウルスラ宣教女修道会
福岡修道院）
※参加費は無料です。
※当日は受付のため、少し前に修道院へお越しください。

ホームレス支援　スープの会

2月から3月の2週目までの毎週金曜日に越冬炊き出し

【調理ボランティア】
14時～　大名町教会1階厨房
【夜回り（配布）ボランティア】
19時　初参加者レクチャー
20時　夜回り準備（袋詰め）
20時半　各コースへ編成決め
21時　各コース夜回り出発
【献品】
冬物の寝袋や防寒着、新品の下着・靴下、大きめのリュックサック、冬服
【問合せ先】
深堀 080・1793・0481
飛永 080・4317・4152　前田 090・8412・7803

― 召命を祈る集い ―

福岡地区　3月19日（火）13時30分～ 大名町教会
〔問合せ先〕☎ 092・921・4532　山口
北九州地区　3月16日（土）14時～ 小倉教会
〔問合せ先〕☎ 0949・24・9905　藤井
熊本地区　3月11日（月）9時50分～ 手取教会
〔問合せ先〕☎ 090・4340・1631　堤

― 各種団体の定例会 ―

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報3月号」、または右記 QR コードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

案内板　会合と催し

3月27日（水）聖香油ミサ　ライブ配信
司式：ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）

聖木曜日の午前中もしくは復活祭に近い他の日に、司教が自教区の司祭団と共同司式をして、聖香油のミサが捧げられます。このミサの中で、聖香油の聖別が行われ、洗礼志願者の油と病者の油が祝福されます。
また、聖香油のミサは、司教の祭司職を表すとともに、司教が司祭団と共同司式することによって両者のきずなを表します。ミサの説教に続いて「司祭の約束の更新」が行われ、司教と司祭団は神と神の民のために奉仕するという叙階の決意を新たにします。

＜スケジュール＞
日時：3月27日（水）15:00～
場所：カテドラル大名町教会　大聖堂
動画は下記方法のいずれかよりご視聴ください。
・福岡司教区ホームページ　https://fukuoka.catholic.jp か上記QRコード
・YouTube →カトリック福岡司教区→「聖香油ミサ」で検索

真命山諸宗教対話センター　- 祈りの集い -

年間テーマ：真の幸せへの道
日　　時：3月14日（木）　10時～15時
内　　容：「心の貧しい人々は、幸いである」
指 導 者：C.クラウディオ神父（聖ザベリオ宣教会）
次　　回：4月11日（木）　10時～15時
内　　容：「悲しむ人々は、幸いである」
指 導 者：C.クラウディオ神父（聖ザベリオ宣教会）
問合せ先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜷浦1391-7
E-mail　shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします（要予約）

3月のこよみ

1日（金）　性虐待被害者のための祈りと償いの日
3日（日）　四旬節第3主日　直方教会司牧訪問
4日（月）　教区青少年委員会
5日（火）　経済問題評議会
7日（木）　常任司教委員会（東京）
8日（金）　シノドス担当者会議（東京）
10日（日）　四旬節第4主日　湯川教会 黙想会
12日（火）　教区顧問会
16日（土）　本渡教会司牧訪問
17日（日）　四旬節第5主日　崎津・大江教会司牧訪問
純心聖母会・大江修道院　閉院感謝ミサ
日本の信徒発見の聖母（長崎の信徒発見記念日）
19日（火）　聖ヨセフ　アベイヤ司教霊名の祝日
24日（日）　受難の主日（枝の主日）　田川教会司牧訪問
25日（月）　神のお告げ
27日（水）　聖香油ミサ司式（大名町教会）
28日（木）　聖木曜日　カテドラル大名町教会 司式
29日（金）　聖金曜日　カテドラル大名町教会 司式
30日（土）　復活徹夜祭　カテドラル大名町教会 司式
31日（日）　復活祭　カテドラル大名町教会 司式・堅信式
【4月】
3日（水）　アド・リミナ（教皇庁定期訪問）（ローマ～13日）
■ゴチックは司教日程

四旬節 愛の献金

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、各問合せ先にお尋ねください。

■美野島司牧センター
○ホームレスの方に温かい食事と衣類　毎週火曜日10時
○ホームレス支援炊き出し調理　毎週金曜日14時～
（大名町教会）
夜回り　21時から
※3月第2金曜日まで、大名町教会「スープの会」と協働
○路上からアパートに入居した方を訪問　第3土曜日14時
〔問合せ先〕☎092・431・1419コース・マルセル神父
■聖体といやしの家
ご聖体のある家でミサと礼拝のある今を過ごしてみませんか？必要があればシスターや社会福祉士が同伴できます。
〔問合せ先〕☎080・4735・6971礼拝会

編集後記

毎度校了前のジタバタ中、前日まで作動していた広報室のガスファンヒーターが、44年という長きに渡る役目を終えたかったのか、突如うんともすんとも動かなくなりました。点検に来た西部ガスの若いお兄さんも「あまり見ないタイプですね」と気を使うものの、明らかに「見たことない！」という心の声が、顔ににじみ出ていました（笑）
ちょうど、春を思わせるような陽気が続いていた時でしたが、「明日はこの時期らしい寒気に」という天気予報に、その日はタイツにセーター、もう一枚タイツにカーディガンと、腰回りが何回も重ね着になる、まるで昔の現金書留封筒のように重装備で出勤したところ、広報室には、なんとまあ暖かく明るい陽射しが差し込んでいること！
神様は本当に何でもご存知で、必要なものを必要な時に届けてくださいますね。この日は体だけでなく心もぽかぽか。「凍えては大変」と、事務局の神父さまも業者の方をせかしてくださり、風邪も引かず、無事新しい暖房機が届きました。「♪神をたたえよう。神はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠」（W）

2 NĂM ĐẾN NHẬT　日本に来てから2年を経て
Gioan Baotixita Phạm Văn Thuyên, CM.（Viet Nam）
洗礼者ヨハネ　ファム・バン・チュエン神父

大名町教会のベトナム語ミサで福音朗読をするチュエン神父（真ん中）

Lần hiện ra cuối cùng tại Galilê, Chúa Giêsu nói với các môn đệ "Anh em hãy đi và làm cho muôn dân trở thành môn đệ, làm phép rửa cho họ, nhân danh Cha và Con và Thánh Thần" (Mt 28, 19). Thực hiện lệnh truyền của Chúa trong tư cách là linh mục thuộc Tu Hội Truyền Giáo Vinh Sơn, tôi có sứ vụ đi đến bất cứ nơi đâu Giáo Hội cần với "Bài sai" của cha Bề Trên. Tôi được sai đến Giáo phận Fukuoka qua lời mời gọi của Giáo mục Giuse. Tại Giáo phận Fukuoka đang có nhiều người trẻ Công Giáo Việt nam sinh sống, để đáp ứng mong muốn được tham dự thánh lễ Tiếng Việt và những nhu cầu thiêng liêng khác, tôi đã hiện diện nơi đây để thực hiện "sứ vụ" của tôi trong vai trò là linh mục truyền giáo Vinh Sơn.

Tôi đến Fukuoka ngày 25/4/2022, tính đến nay gần 2 năm. Với tôi, thời gian qua, là thời chuẩn bị cũng như Chúa Giêsu đã sống ở Nazareth 30 năm để chuẩn bị cho sứ vụ công khai. Khi đến một đất nước khác, mọi sự đều mới, mọi sự cần có thời gian học hỏi, làm quen, học ngôn ngữ, học cách tháp nhập vào văn hóa và môi trường tôi được sai đến. Tôi vẫn đang tiếp tục điều đó. Bên cạnh đó tôi vẫn đang giúp các bạn trẻ Công Giáo Việt Nam giữ lòng yêu mến thánh lễ và các bí tích.

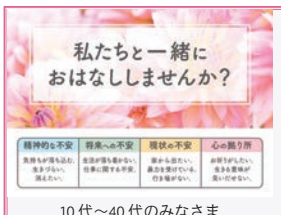
Thời gian qua, sống tại Nhật: vui có, buồn có, khó khăn có, thuận lợi có, thất vọng có, hy vọng có. Điều khó khăn lớn nhất đó là ngôn ngữ. Tiếng Nhật thật là khó. Hiện tại tôi vẫn đang đi học ở trường, bên cạnh đó tôi còn giúp các cộng đoàn Việt Nam về thánh lễ, các Bí Tích và sinh hoạt của các cộng đoàn. Vì vậy, khả năng tiếng Nhật của tôi chưa tốt, mong mọi người thông cảm và tiếp tục đón nhận tôi. Giữa những khó khăn đó tôi cảm nghiệm được "ơn Ta đủ cho con" và cảm nhận sự yêu thương, nâng đỡ của mọi người, có được niềm vui trong phục vụ qua việc gặp gỡ, giúp đỡ lẫn nhau.

Tôi cầu nguyện với Thánh Cả Giuse, vị thánh của Tháng 3 này, Đấng bảo trợ giáo hội, giúp cho tôi thực hiện sứ vụ Thiên Chúa trao phó cho tôi. Xin Ngài bảo trợ cho tất cả chúng ta như Ngài đã từng chăm sóc, che chở Hài Nhi Giêsu và Mẹ Maria.

イエス様はガリラヤで最後に現れる時、弟子たちに「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授けなさい」と指示しました。このイエス様のみ言葉に従って、聖ビンセンシオ宣教会修道者として私は遣わされた者、教会が必要とするところならどこへでも行って、「使命」を果たします。
私はヨゼフ・アベイヤ司教の招きで福岡教区に派遣されました。

※ 日本語訳の続きは右記 QR コードからお読みください。

教区アプリを左記QRコードからインストールできます。
iOS アップル
アンドロイド



10代～40代のみなさま
こんな悩みをお持ちでないですか？
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もいたします。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

安心してお話が出来る人をお探しの方へ。
メール：hanahanahimawari2020@gmail.com
☎：080-4735-6971（9:00－21:00）
※対応できないときもあります。
※ 原則1回30分です。
LINE 右記 QR コード
―ぷろじぇくとHana―
ぷろじぇくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している、礼拝会を中心としたグループです。

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話　080-2694-4182
受付時間　月～金（祝日を除く）
10:00～12:00　13:00～16:00